

まちと私のサステナビリティ研究会  
プロローグ  
はじめに 都市の持続可能性？

2026. 2. 24

立教大学大学院社会デザイン研究科

環境学部開設準備室

滝口直樹

# 都市とは？

国際的に合意されている共通の定義はない。  
都市人口推計も、各国それぞれの定義・手法で推計

日本: 人口集中地域 国勢調査で用いられる  
1km<sup>2</sup>あたり4000人以上の人口密度を持つ地域  
基本単位区(だいたい〇丁目の範囲)の人口密度で判断

総人口の70.0%が、人口集中地域に居住している  
南関東、京阪神、愛知、北海道、福岡は集中がかなり進んでいる。  
(2020年・令和2年国勢調査 人口集中地区の概要)

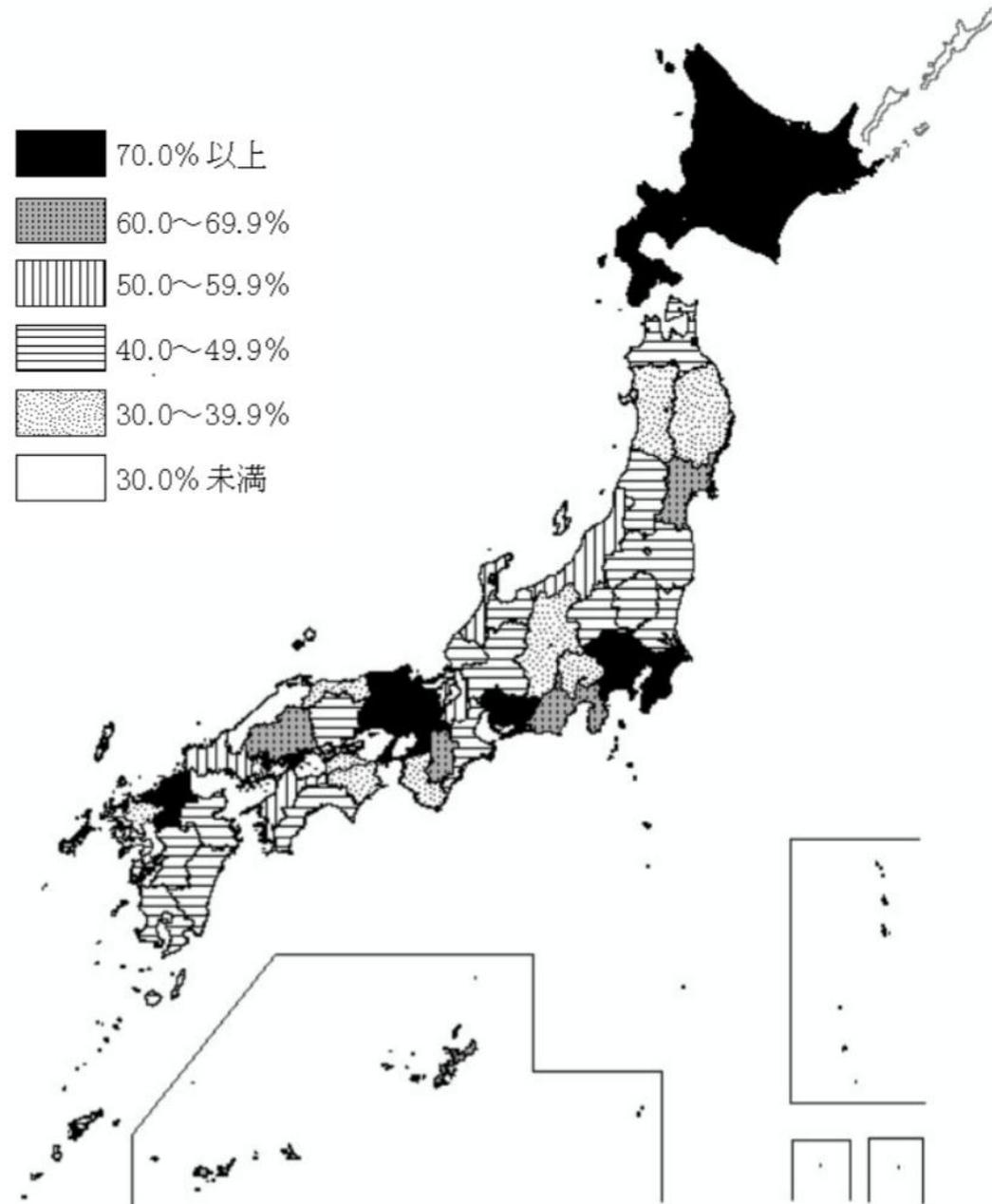
[https://www.stat.go.jp/data/chiri/map/c\\_koku/kyokaizu/pdf/r2\\_gaiyo.pdf](https://www.stat.go.jp/data/chiri/map/c_koku/kyokaizu/pdf/r2_gaiyo.pdf)

表1 全国の人口集中地区人口、面積及び人口密度

年	市町村数	地区数	人口	増加率	全国人口に	面積	増加率	人口密度
				(%)	占める		(%)	
昭和 35年*	763	891	40,829,991	-	43.7	3,865.20	-	10,563
40年*	819	1,002	47,261,455	15.8	48.1	4,604.90	19.1	10,263
45年	911	1,156	55,996,885	17.5	53.5	6,444.10	39.0	8,690
50年	931	1,257	63,822,648	14.0	57.0	8,275.40	28.4	7,712
55年	973	1,320	69,934,854	9.6	59.7	10,014.70	21.0	6,983
60年	986	1,368	73,344,121	4.9	60.6	10,570.70	5.6	6,938
平成 2年	1,002	1,373	78,152,452	6.6	63.2	11,732.20	11.0	6,661
7年	1,003	1,389	81,254,670	4.0	64.7	12,260.50	4.5	6,627
12年	976	1,359	82,809,682	1.9	65.2	12,457.37	1.6	6,647
17年	892	1,334	84,331,415	1.8	66.0	12,560.58	0.8	6,714
22年	829	1,319	86,121,462	2.1	67.3	12,744.40	1.5	6,758
27年	803	1,291	86,868,176	0.9	68.3	12,786.32	0.3	6,794
令和 2年	793	1,276	88,285,927	1.6	70.0	13,250.40	3.6	6,663

\* 沖縄県を含まない。

図1 都道府県の総人口に占める人口集中地区人口の割合



令和2年度国勢調査  
人口集中地区の概要

都市は、孤立した存在ではない、また自立してもいない。

人、もの、エネルギー、生物、水、経済を介し

都市の外である、世界や地方とつながっている

- 都市には、人々が集中している。住んでいる 働いている  
→人々自体やその人々の生活を支えるため、様々な活動が展開  
都市内で閉じてはいない、都市の外の地方や世界とつながっている。
- 都市にも自然環境はある。 大気の動き、水の流れ、行き交う生物  
環境は都市の内外を区別しない

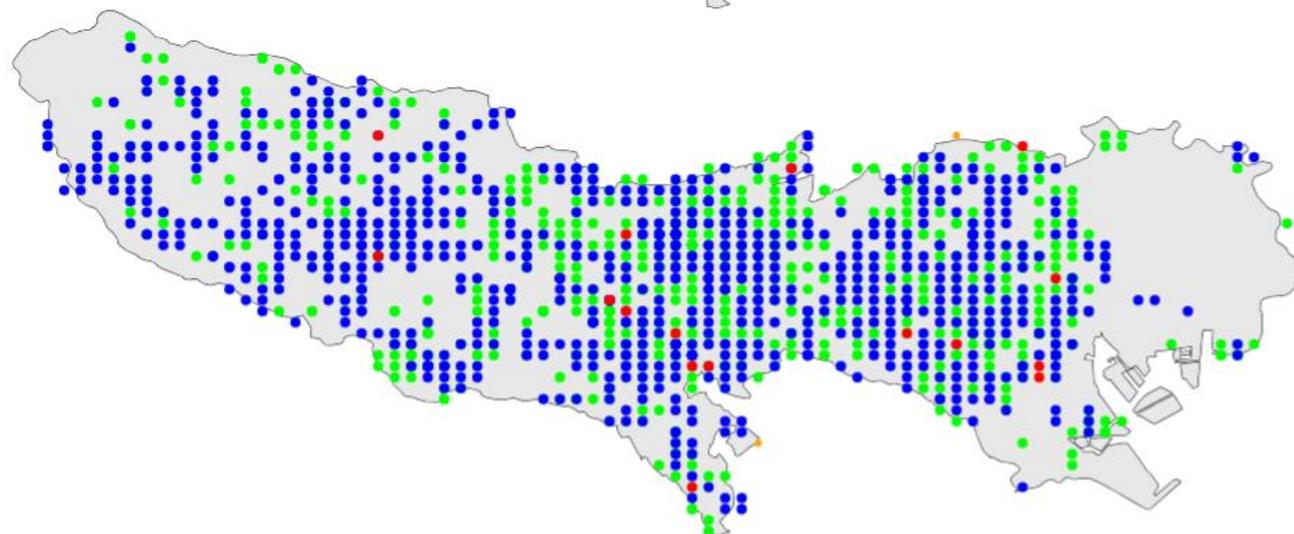
都市は決して自立していない。外部に依存して存在。

# メジロ 都心に向けて生息域を拡大

1993-1997年



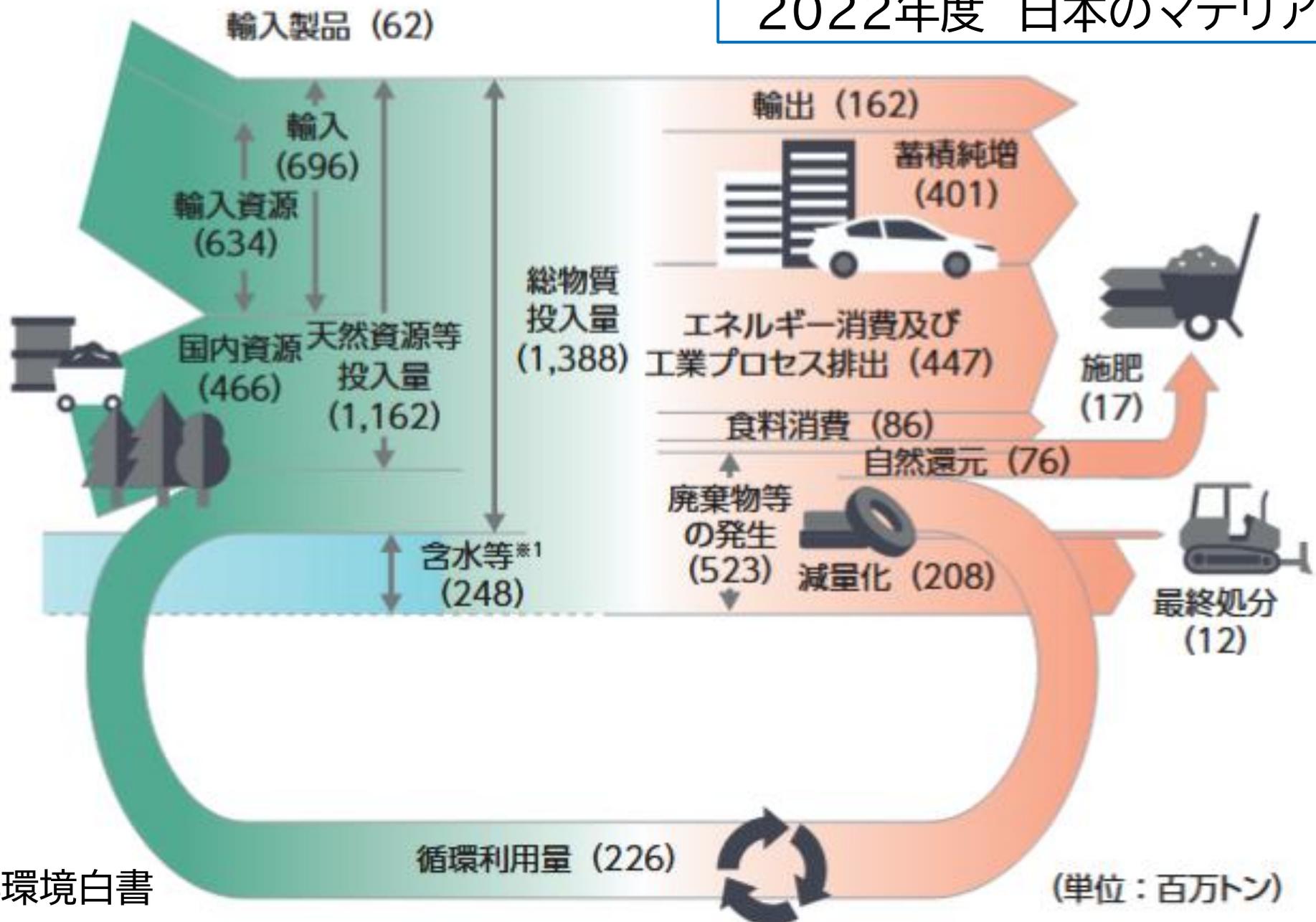
2016-2021年



東京都鳥類繁殖分類調査 2016-21  
特非バードリサーチ

<https://www.bird-atlas.jp/news/bbstokyo2016>

# 2022年度 日本のマテリアルフロー

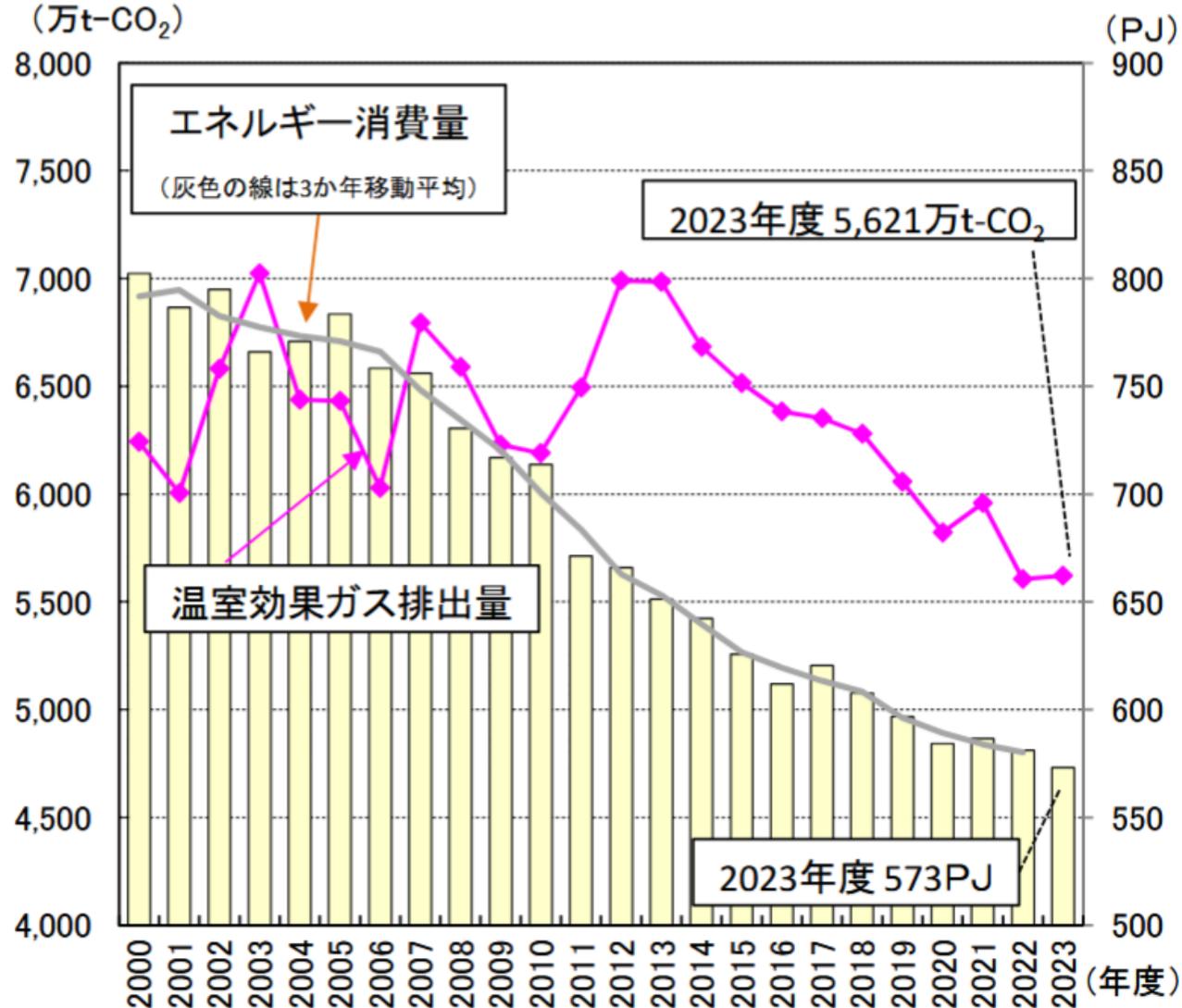




# 空から見た東京湾廃棄物埋立場

東京都HP  
[https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/resource/landfill/photo/chubou\\_air/](https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/resource/landfill/photo/chubou_air/)

# エネルギー消費量及び温室効果ガス排出量の推移



東京都の再生可能エネ発電施設の設備容量は、80.1万kw

再生可能エネ発電量の推計は難しいが、再生可能エネルギー自給率は2.4%とも推計される、

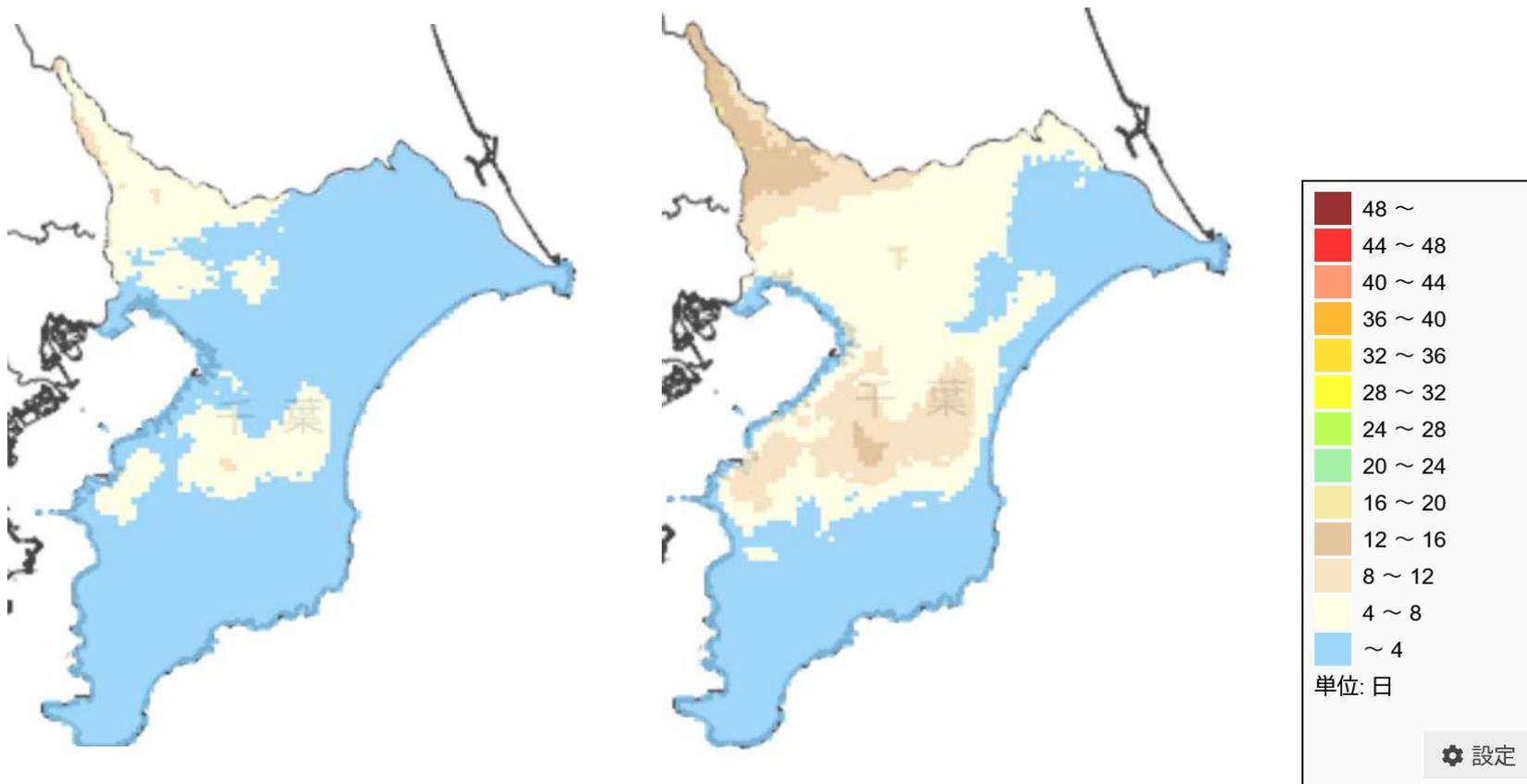
「永続地帯2024年度版報告書」  
千葉大倉阪研究室＋特非環境エネルギー政策研究所

# A-PLAT(気候変動適応情報プラットフォーム:国立環境研究所) 将来予測WebGIS

## 猛暑日の増加 千葉県への予測

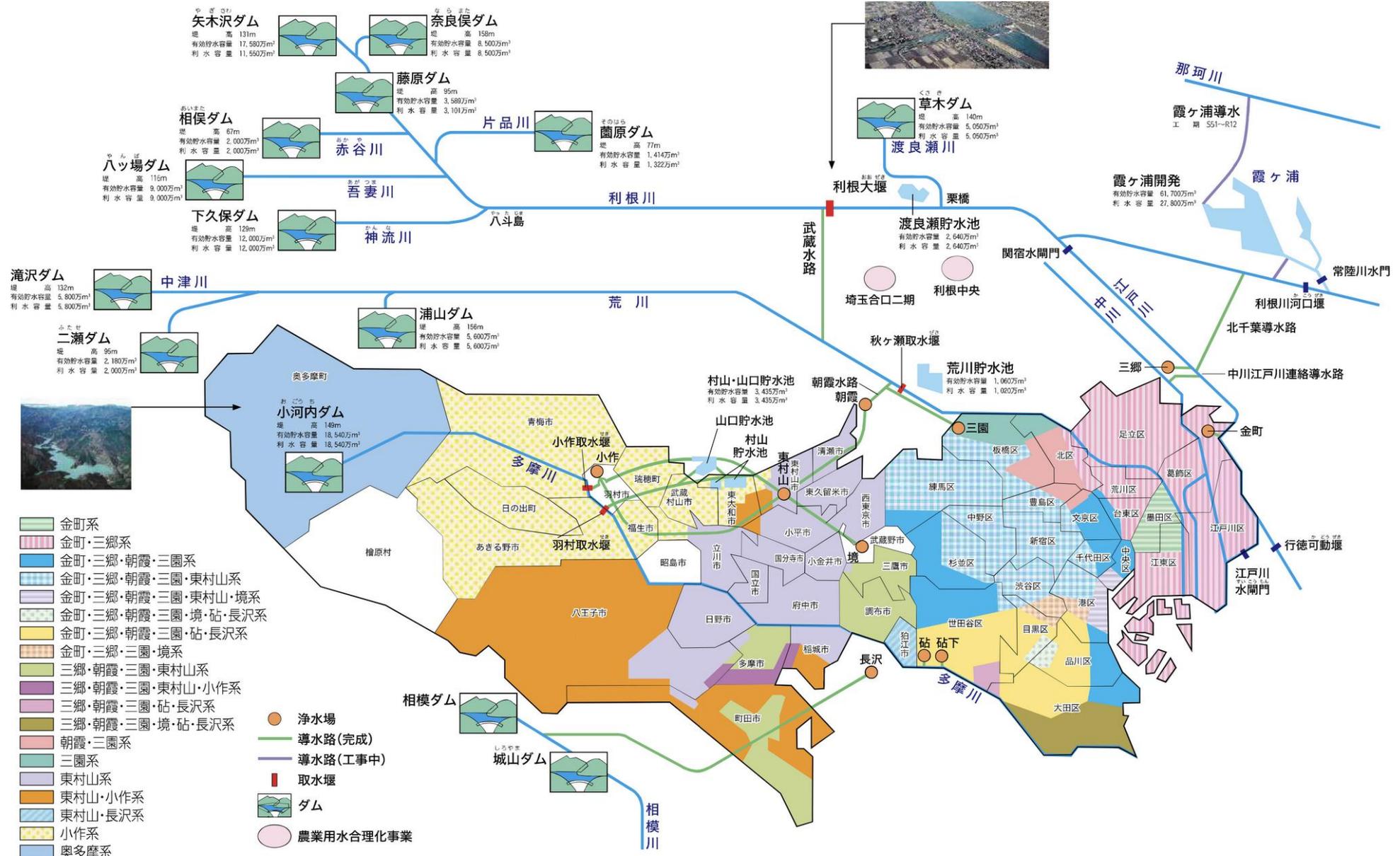
2020年

2050年



現在メンテナンス中 <https://adaptation-platform.nies.go.jp/webgis/index.html>

# 東京都の水道水源と浄水場別給水エリア



それぞれの給水する区域は工事に伴う運用状況等により変わります。(令和7年3月末時点)

# 東京都水源林(多摩川流域)



東京都水道局 みずふる HP

<https://www.mizufuru.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/overview/map/>

# 神奈川県水源図

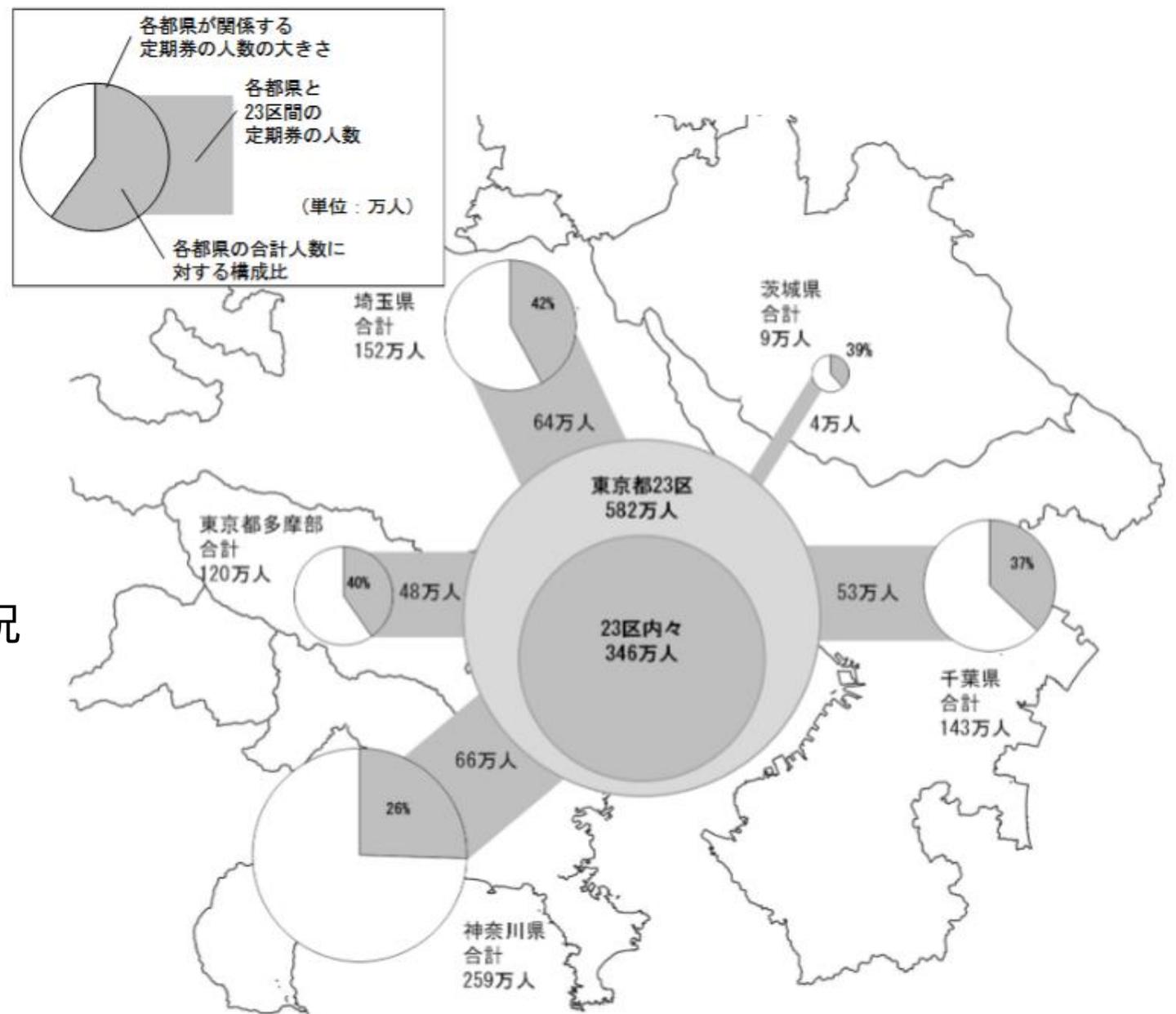
令和4年3月現在



## 通勤/通学

首都圏では膨大な数の人が  
朝晩、通勤/通学する

### 定期券利用者の移動状況



通勤通学以外でも、  
大量の人が移動する

定期券以外のICカード  
利用者の動き

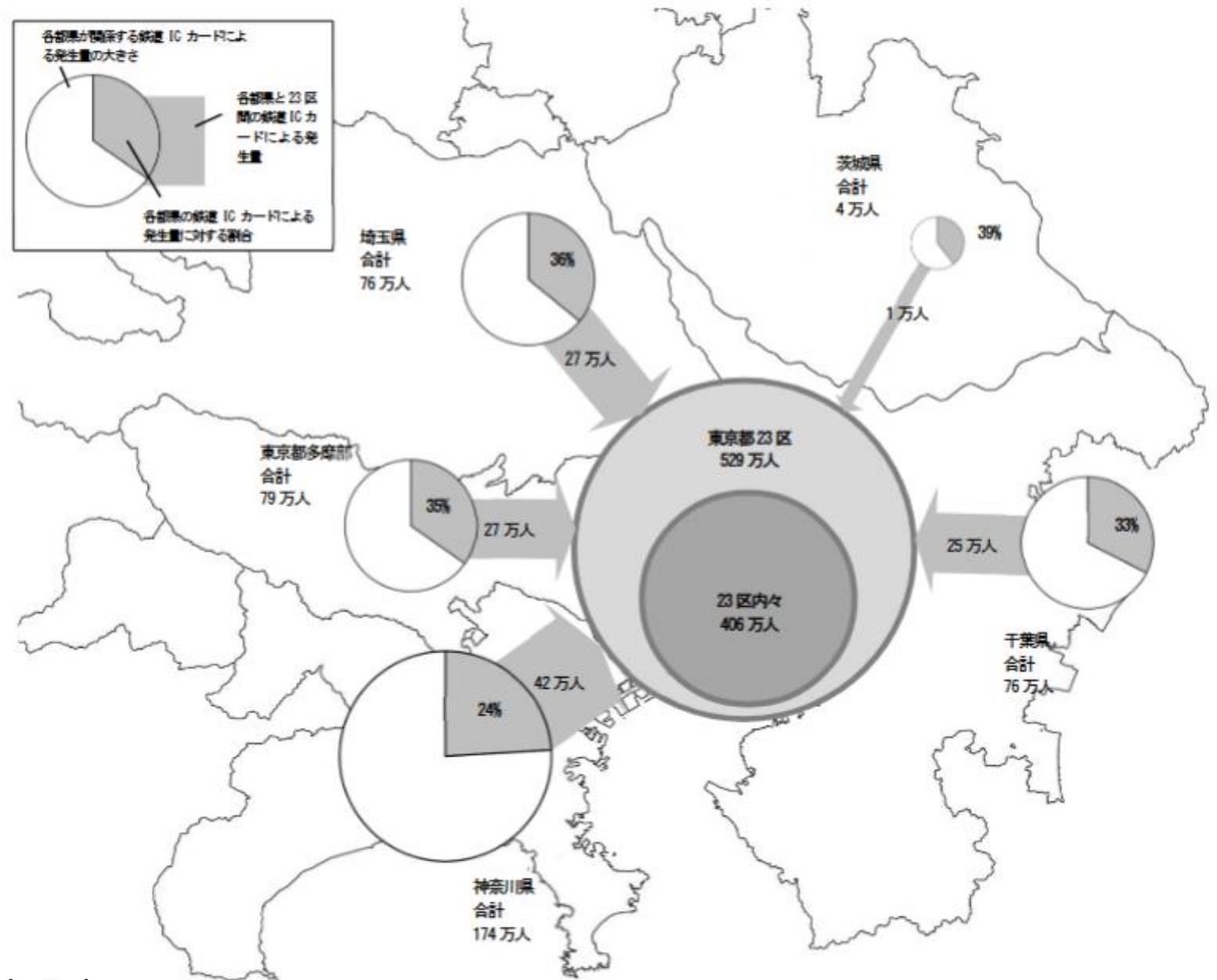


図 5-22 地域別発生量 (首都圏)

これほど、人がいっぱいいて、  
サステナブルとは思えない都市には、人が集まり続けている  
日本の地方で、人口が増加しているのは、南関東だけ

なぜ？

都市ならではの魅力があるのでは？

例えば

「都市の空気は自由にする」

自由さ、クリエイティビティの発揮可能性・・・

人がいなければ、持続可能な社会は作れない **人は大切**  
(環境は持続するかもしれないが・・・)

この研究会で議論できる問いはいくつもあると思います

都市は、持続可能なのだろうか

持続可能でないなら、どうすれば持続可能になるのだろうか

都市と地方、そして世界の人たちが、幸せに暮らすためには何ができるのだろうか

...

具体的な現象、活動、営みに即して、考えることができると、  
なにがしらのヒントが得られるかもしれません。